

中部保健所管内 感染症発生動向調査情報

2023/7/24 ~ 2023/7/30

発 令 中 の 注 意 報	県 全 体	<警報>	なし	<注意報>	なし
	各 保 健 所	警報	中部保健所： なし 宮古保健所：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 那覇市保健所：急性出血性結膜炎	注意報	中部保健所： なし

・現在、中部保健所管内で警報、注意報はでていません。



『RSウイルス感染症が増加しています!』

◎RSウイルス感染症について

RSウイルス感染症は乳幼児に多くみられる呼吸器の感染症です。例年、秋から冬にかけて流行していましたが、近年では7月頃より報告数の増加が見られるようになりました。

生後6か月未満の乳児、早産・低出生体重児、先天性心疾患や慢性肺疾患、ダウン症、免疫不全症などを有する感染者の場合、重症化するリスクが高まります。

◎症状について

主な症状は発熱、鼻水、咳、のどの痛みです。

***咳の悪化や喘鳴（呼吸をするときにヒューヒュー、ゼーゼーと音がすること）呼吸困難症状がみられた場合には早めの受診をお願いします。**

◎感染対策について

感染経路は飛沫感染と接触感染です。感染対策として呼吸器症状がある方と乳幼児の接触を避けること、マスクを着用するなどの咳エチケットが有効です。また、子どもたちが日常的に触れるおもちゃや手すりなどをこまめにアルコールなどで消毒すること、流水と石鹸による手洗いが重要です。

詳しくは[厚生労働省RSウイルス感染症Q&A](#)をご覧ください。

■ 感染症の発生動向 1類～5類（全数把握）

県全体 うち中部

1類	なし		
2類	結核	5	1
3類	腸管出血性大腸菌感染症	2	0
4類	レジオネラ症	1	0
5類	急性弛緩性麻痺	1	0
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	0
	侵襲性肺炎球菌感染症	6	1
	後天性免疫不全症候群（HIV感染症含む）	1	0
	梅毒	1	0

■ 感染症の定点当たり報告数

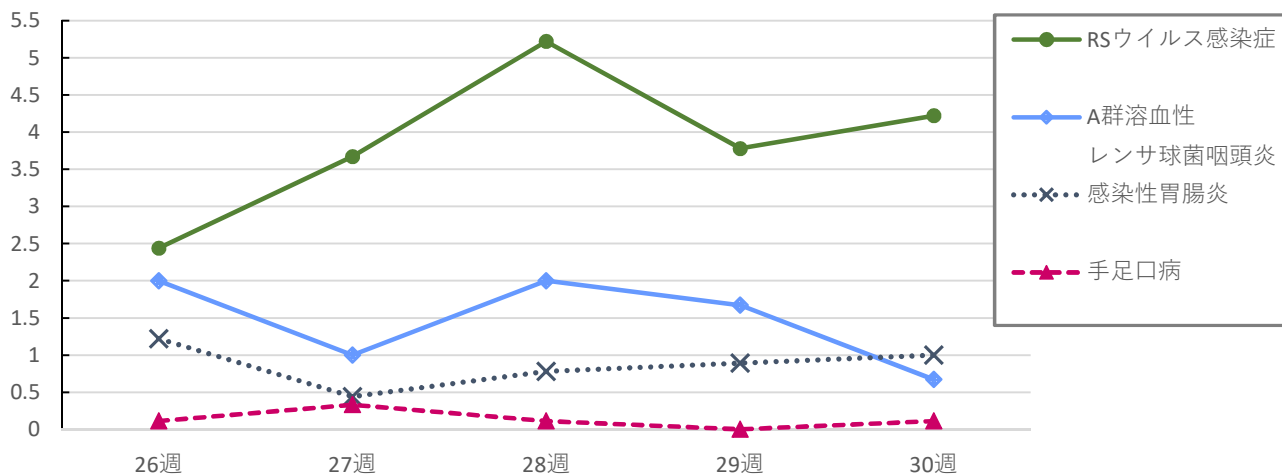
※直近5週間で報告された感染症のみ

	26週		27週		28週		29週		30週	
	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県	中部	沖縄県
インフルエンザ	0.25	0.44	0.75	0.7	0.75	0.67	1.25	0.96	6.5	4.28
RSウイルス感染症	2.44	4.42	3.67	4.84	5.22	4.97	3.78	4.1	4.22	3.32
咽頭結膜熱	0	0.03	0.33	0.35	0.78	0.52	0.67	0.55	0.67	0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2	2.03	1	2.13	2	2.23	1.67	1.74	0.67	2.03
感染性胃腸炎	1.22	2.13	0.44	1.74	0.78	2.74	0.89	2.39	1	3.03
水痘	0	0.06	0	0.06	0	0.06	0.11	0.03	0	0.06
手足口病	0.11	0.23	0.33	0.26	0.11	0.29	0	0.19	0.11	0.19
伝染性紅斑	0	0	0	0	0.11	0.26	0	0	0	0
突発性発疹	0.44	0.19	0.44	0.23	0.33	0.16	0.22	0.1	0.11	0.13
ヘルパンギーナ	0	0.74	0	0.61	0	0.9	0.44	0.55	0.78	0.97
流行性耳下腺炎	0	0.06	0.33	0.13	0.22	0.16	0.11	0.06	0.11	0.06
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.13
流行性角結膜炎	0	1	0	0.88	0	1	1	0.63	0	1.5
細菌性髄膜炎（真菌性含む）	0	0	0	0.14	0	0	0	0.14	0	0
クラミジア肺炎	0	0.14	0	0	0	0	0	0	0	0
COVID-19	42.13	48.39	40.06	41.67	26.94	31.83	20.5	22.43	17.94	17.59

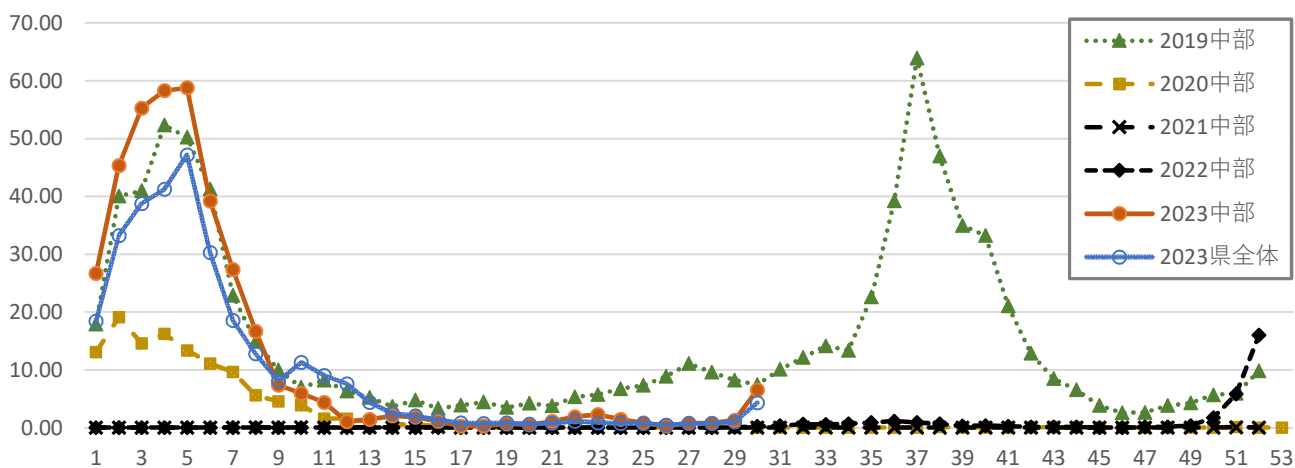
警報

注意報

■ 中部保健所管内の直近5週間の主な感染症の推移（10万人当たり患者数）



■ インフルエンザの過去5年の発生動向



■ 新型コロナウイルス感染症

